

令和7年度 花輪線利用促進協議会 通常総会

自転車 + 列車

秋の十和田八幡平 四季彩ラインを楽しもう!

花輪線サイクルトレイン実証実験
令和6年10月1日(火)～10月31日(木)

安全に乗車できよくご利用いただくために
自転車に乗らない! 音がうるさい! ひと声かけて、ゆずりあいを!

北森駅⇄鹿角花輪駅

利用可能自転車: スポーツタイプのみ(ロードバイク、クロスバイク等) | 人数制限: 1運行10名まで | 利用料: 乗車運賃のみで道間料金は不要

お問い合わせ先: 花輪線利用促進協議会事務局(八幡平市役所 東館3Fリニア課) TEL: 0195-74-2111(代番)

花輪線サイクルトレイン実証実験ポスター

日時: 令和7年5月29日(木) 午後2時30分
会場: 八幡平市西根地区市民センター 大ホール

次第

1 開 会

2 挨 拶

3 議 事

- (1) 報告第1号 令和6年度事業報告について
- (2) 認定第1号 令和6年度収支決算について
- (3) 議案第1号 令和7年度活動方針及び事業計画（案）について
- (4) 議案第2号 令和7年度収支予算（案）について

4 その他

5 閉 会

報告第1号

令和6年度事業報告について

月日	事業実施内容
4月16日	第6回 花輪線サイクルトレイン打合せ（JR盛岡統括センター）
5月15日	幹事会 乗車目標の設定、総会付議案件について
5月16日	第7回 花輪線サイクルトレイン打合せ（JR盛岡統括センター）
5月28日	令和6年度通常総会 ○議事 （1）報告第1号 令和5年度事業報告について （2）認定第1号 令和5年度収支決算について （3）議案第1号 令和6年度活動方針及び事業計画（案）について （4）議案第2号 令和6年度収支予算（案）について 【全議案について承認】
5月29日	花輪線サイクルトレイン試運転列車検証試験
6月13日	第8回 花輪線サイクルトレイン打合せ（JR盛岡統括センター）
7月18日	第9回 花輪線サイクルトレイン打合せ（JR盛岡統括センター）
8月22日	第10回 花輪線サイクルトレイン打合せ（JR盛岡統括センター）
8月23日	サイクルトレイン実証実験事業説明（東北運輸局）
8月28日	サイクルトレイン実証実験モニターツアー（利用促進協議会幹事）
9月3日	サイクルトレイン実証実験プレスリリース
10月1日	サイクルトレイン実証実験開始（10/1～10/31まで）
11月14日	第11回 花輪線サイクルトレイン打合せ（JR盛岡統括センター）
12月23日	幹事会 花輪線サイクルトレイン実証実験の結果報告について （予約実績49台、利用実績44台） 各自治体の利用促進取り組みについて
12月26日	第12回 花輪線サイクルトレイン打合せ（JR盛岡統括センター）
2月20日	第13回 花輪線サイクルトレイン打合せ（JR盛岡統括センター）
2月26日	幹事会 令和7年度事業計画について 令和7年度目標値設定について
3月19日	第14回 花輪線サイクルトレイン打合せ（JR盛岡統括センター）
3月19日	サイクルトレイン実証実験2025事業説明（東北運輸局）
通年	協議会ホームページ「花輪線に乗ろうよ！」の管理 アクセス数（R6.4.1～R7.3.31） 44,345件（前年度比 +1,569件）

会員各団体の取り組み

【岩手県】

○ J R ローカル線活性化対策事業費補助金

補助事業の内容：補助対象団体が実施する J R ローカル線(花輪線、北上線、山田線、釜石線、大船渡線、八戸線)の利用促進事業等に係る経費に対して補助。

補助対象団体：岩手県内市町村又は市町村が中心となって利用促進を実施する団体

補助率：1/2（補助上限 1 路線当たり 5,000 千円）

[花輪線の令和 6 年度実績]

事業名：花輪線サイクルトレイン推進事業（花輪線利用促進協議会）

内容：車内広告、WEB ページ作成、サイクルトレイン試走

補助金額：217,140 円

事業名：サイクルトレイン予約管理アプリケーション構築事業（八幡平市）

内容：サイクルトレイン用に予約管理アプリケーションをカスタマイズ

補助金額：297,000 円

○国への要望活動（令和 7 年度政府予算要望）

実施時期：令和 6 年 6 月 7 日

内容：地方鉄道路線を含めた鉄道ネットワークの維持に向けた支援について、国に対して要望を実施した。

○ J R 東日本へのダイヤ改正等に係る要望

実施時期：令和 7 年 2 月 12 日

内容：県内市町村から J R 路線のダイヤ改正等に係る要望事項を取りまとめ、J R 東日本盛岡支社あて要望を実施した。

【盛岡広域振興局】

○もりおか広域観光・工芸等産業振興事業費

令和 6 年 7 月 20 日から令和 6 年 11 月 4 日まで

盛岡広域エリア（盛岡市、八幡平市、滝沢市）

1,584 人、プレゼント応募者数 227 人

広域観光（盛岡広域・鹿角エリア）を促進するため、デジタルスタンプラリーを実施した。スポット数：214 スポット

特集テーマとして J R 花輪線を取り上げるとともに、大館市もスタンプラリーのエリアに含め、沿線周辺をスポットとした。

【秋田県】

○国への要望活動

令和 6 年 5 月 17 日、令和 6 年 11 月 22 日 会場：国土交通省

J R 各社や地域による路線の維持及び利用促進に向けた取組に対し、積極的な支援を行うことなどを要望した。

○J R ローカル線活性化事業費補助金

令和 6 年 5 月 28 日

鹿角市が実施する J R 花輪線の利用促進に係る事業に要する経費に対して助成した。

① 事業概要：花輪線を利用したツアーの開催及びフォトコンテストの実施

② 補 助 率：1／2

③ 交付決定額：2,497,000 円

○J R 東日本へのダイヤ改善要望

令和 6 年 9 月 5 日 J R 東日本秋田支社

県内市町村から J R 路線のダイヤに係る要望事項を取りまとめ、J R 東日本あて要望を実施した。

○学校訪問キャラバン

令和 7 年 3 月 花輪線沿線の高等学校

花輪線沿線の高校を訪問し、生徒や保護者等に対して通学定期利用の PR を実施予定

【鹿角地域振興局】

○秋田・岩手 十和田八幡平広域観光周遊事業

令和 6 年 7 月 20 日～令和 6 年 11 月 4 日 1,584 人

鹿角・盛岡広域エリアを対象としたデジタルスタンプラリーを実施し、エリア内の周遊旅行や観光施設・飲食店等の合計 214 スポットで消費拡大を図った。

昨年度に引き続き J R 花輪線の特集し、今年度は新たに北秋田地域振興局と大館市の協力により、スポットに大館駅などの周辺施設を加えて実施した。

【北秋田地域振興局】

○花輪線利用促進 広域連携誘客促進事業（鹿角・盛岡広域エリア 十和田八幡平観光キャンペーンとの連携事業）

令和6年7月20日～令和6年11月4日まで ※キャンペーン期間

花輪線 大館地域の14施設

鹿角広域観光推進会議（事務局：鹿角地域振興局）と岩手県盛岡広域振興局が行う「十和田八幡平観光キャンペーン」と連携し、花輪線の観光目的による利用促進と、広域的な誘客の拡大を図った。（北秋田地域振興局はデジタルスタンプラリーに係る特別協賛14スポットの取材・データ作成を負担。大館市はスタンプラリー景品を負担。）

【鹿角市】

○ブルートレイン あけぼのに泊まる1泊2日

令和6年7月26日

鹿角市・小坂町 参加者28名

花輪線を利用した周遊観光を促進するため、花輪線に乗車して鹿角花輪駅に集合。鹿角市内観光スポットを巡り、小坂鉄道レールパークにある「ブルートレインあけぼの」に宿泊する1泊2日のツアーを開催。

○北限の桃狩りと世界文化遺産大湯環状列石1日旅

令和6年9月8日 鹿角市内 参加者24名

花輪線を利用した周遊観光を促進するため、花輪線に乗車して鹿角花輪駅に集合。アップルパイ作り、桃狩り、世界文化遺産「大湯環状列石」を巡る日帰りツアーを開催。

○山頂に広がる草紅葉 初秋の八幡平1日旅

令和6年9月29日 鹿角市・八幡平市 参加者25名

花輪線を利用した周遊観光を促進するため、花輪線に乗車して八幡平駅に集合。八幡平山頂周辺を散策、後生掛温泉を巡る日帰りツアーを開催。

○観光臨時列車「ひなび（陽旅）」出迎え

令和6年11月30日・令和6年12月1日

花輪線を初めて運行する「ひなび（陽旅）」の鹿角花輪駅での停車に合わせ、花輪ばやしの実演と、たんぼ小町ちゃんでお出迎えを実施。鹿角リンゴの振舞いを実施。

○1300 年の神々の舞 大日堂舞楽 1 日旅

令和 7 年 1 月 2 日 鹿角市内 参加者 24 名

花輪線を利用した周遊観光を促進するため、花輪線に乗車して八幡平駅に集合。ユネスコ無形文化遺産「大日堂舞楽」と道の駅かつのでの花輪ばやし特別公演を鑑賞する日帰りツアーを開催。

○大館アメッコ市 1 日旅

令和 7 年 2 月 8 日 鹿角市内 参加者 14 名

花輪線を利用した周遊観光を促進するため、花輪線に乗車して大館駅に集合。「大館アメッコ市」を見学する日帰りツアーを開催。

○湯瀬溪谷スノーシューハイク 1 日旅

令和 7 年 2 月 22 日 鹿角市内

花輪線を利用した周遊観光を促進するため、花輪線に乗車して湯瀬温泉駅に集合。スノーシューで雪の湯瀬溪谷をハイキング、終了後は溪谷を眺めながらの温泉入浴を行う日帰りツアーを開催。

○花輪線に乗ろう「JR 花輪線私のお気に入りの 1 枚」フォトコンテスト

令和 6 年 8 月 1 日～令和 7 年 1 月 10 日 花輪線沿線 応募総数 175 作品

花輪線をテーマにフォトコンテストを開催。入賞作品でポスターを作成し、花輪線の利用促進に活用。花輪線に関心を寄せてもらうとともに、認知度向上を図った。

○市広報での花輪線特集記事掲載

市広報で花輪線の特集記事を掲載。

○秋田県種苗交換会に向けて、花輪線での来場呼びかけ

令和 6 年 11 月 1 日～令和 6 年 11 月 5 日に開催された秋田県種苗交換会へ花輪線を利用した来場の周知・呼びかけを実施。

【大館市】

○「駅 one」

令和 6 年 9 月 29 日 会場：JR 大館駅 駅前広場 主催：大館駅前振興組合

駅前の賑わい創出を目的に開催。令和 6 年度は駅前広場のオープン記念として開催した。会場までのアクセス方法として、花輪線の利用を呼びかけた。

○「ひなび八幡平」のお出迎え

令和6年11月30日～令和6年12月1日 JR大館駅

JR東日本の観光列車「ひなび」が盛岡～大館間で運行された。大館駅ホームでは「秋田犬のふるさと大館へようこそ」と書かれた横断幕が掲げられ、観光駅長を務める秋田犬「想空（そら）」が乗客を出迎えた。

【盛岡市】

○JR花輪線PRパネル展示

令和6年9月21日 会場：盛岡駅西口マリオス前1階、マリオス3階エントランスロビー 参加人数：約800人

「盛岡市バスの日まつり」の関係機関PRコーナーにおいて、花輪線の写真や利用促進事業等に関するパネル展示を行い、沿線自治体の観光パンフレット等を配架した。

○市公式ホームページによる情報発信

令和6年12月

市公式ホームページにおいて、花輪線利用促進協議会のホームページやInstagramに関する情報発信を行った。

【滝沢市】

○各イベントでのポスター等掲示によるPR

令和6年8月24日 「滝祭」 会場：ビッグルーフ滝沢 来場者：175名

令和6年9月29日 「おやこフェスタ」 会場：ビッグルーフ滝沢 来場者：352名

令和6年10月20日 「ふるさと交流館秋祭り」 会場：ふるさと交流館 来場者：118名

各イベント（計3回）でのリーフレット等の配布による公共交通の利用促進・アンケート・花輪線に関するポスター等の掲示。

○市公式ホームページによる情報発信

市公式ホームページにおいて、花輪線利用促進協議会のホームページやInstagramに関する情報発信、花輪線の写真等の掲載を行った。

【八幡平市】

○通学定期券購入費補助金交付事業 1,280 件

対象：通学定期券を利用する生徒の保護者 ※市民、もしくは平舘高等学校への通学

補助額：通学定期券購入額の 10/100

○市広報誌への駅等紹介記事掲載

令和 6 年 4 月～令和 6 年 6 月まで

※令和 5 年 7 月から毎月掲載（全 12 回）

市内の駅、駅周辺施設紹介記事「花輪線で出掛けよう」の掲載

○駅周辺イベントの開催

令和 6 年 10 月 19 日 はちマルシェ 会場：大更駅前 来場者：1,291 人

はちマルシェ（実施主体：八幡平市）の開催、開催支援

令和 6 年 10 月 26 日 あしろマルシェ 会場：荒屋新町駅前 来場者：400 人

あしろマルシェ（実施主体：若手経営者の会 Ichibizm 主催）の開催、開催支援

○市民集会等への参加

令和 6 年 9 月 25 日 出前講座（八幡平市婦人会連絡協議会）

花輪線をテーマとした市民集会等へ説明員として参加、現状等の説明

○花輪線沿線支障木伐採事業（田山・舘市地区）

令和 6 年 9 月 18 日 実施場所：鶴谷地踏切付近、戸鎖踏切付近 参加人数：32 名

主催：田山・舘市各地区地域振興協議会

花輪線昼間拡大間合い（計画運休）に合わせて、地域振興協議会がボランティアを募集し、沿線支障木の伐採や刈払いを行った。

○サイクルトレイン予約システム

令和 6 年 7 月 23 日～令和 6 年 11 月 30 日 予約件数：49 件

花輪線利用促進協議会で実施の花輪線サイクルトレイン実証実験実施に伴い、必須である予約システムを構築。

JR ローカル線活性化対策事業費補助金を活用。

○「ひなび八幡平」おもてなし

令和 6 年 11 月 30 日、12 月 1 日

荒屋新町駅で「ひなび八幡平」のおもてなし。いわておかみ会、りんどうの妖精「ありんちゃん」お出迎え。八幡平市の羽沢製菓の南部せんべいお振舞。

【東日本旅客鉄道株式会社盛岡支社】

○「ひなび 八幡平」 令和 6 年 11 月 30 日、令和 6 年 12 月 1 日運行

秋深まる八幡平の景色を、ゆったりとお楽しみいただくことを目的に設定。

各駅にてお出迎え・お見送りのおもてなしをしていただいた。

○JR 東日本盛岡支社公式 SNS x 新幹線とりっぷの活用

秋田県種苗交換会参加者へ向け、花輪線利用を PR 投稿。

○サイクルトレイン

令和 6 年 10 月、利用促進協議会の実証実験に協力。

実証実験に向けた安全確認のため、令和 6 年 5 月に試運転列車を運行し、設備確認を実施。

認定第 1 号

令和 6 年度収支決算について

(収入の部)

(単位：円)

科目	予算額	決算額	比較	説明
1 負担金	760,000	760,000	0	正会員負担金 盛岡市 180,000 滝沢市 60,000 八幡平市 180,000 鹿角市 160,000 大館市 180,000
2 繰越金	73,841	73,843	2	令和 5 年度繰越金
3 雑収入	159	259	100	預金利子
4 補助金	250,000	217,140	△32,860	JR ローカル線活性化対策事業費補助金（岩手県）
計	1,084,000	1,051,242	△32,758	

(支出の部)

(単位：円)

科目	予算額	決算額	比較	説明
1 会議費	100,000	0	△100,000	
2 事務費	20,000	14,620	△5,380	振込手数料 4,620 全国鉄道整備促進協 議会分担金 10,000
3 事業費	954,000	566,280	△387,720	ホームページ 管理委託料 132,000 サイクルトレイン モニターツアー 99,000 サイクルトレイン 広告掲出料 269,280 サイクルトレイン ウェブページ作成 66,000
4 予備費	10,000	0	△10,000	
計	1,084,000	580,900	△503,100	

【収入済額】 1,051,242 円－【支出済額】 580,900 円＝【繰越金】 470,342 円

会 計 監 査 報 告

令和6年度花輪線利用促進協議会会計収支決算について、関係帳簿・書類等を照合審査した結果、その内容は適正なものと認めます。

令和 7年 5月 26日

花輪線利用促進協議会

監事 滝沢市長

武 田 哲 

議案第 1 号

令和 7 年度活動方針及び事業計画（案）について

1 活動方針

花輪線は、沿線住民の生活の足として、また、十和田八幡平国立公園や安比高原など沿線地域の主要観光地へのアクセスルートとしての役割を持つ、沿線地域における総合的な交通ネットワークの核となる重要な存在です。

しかし、沿線の人口減少、少子化による学生の減少、自家用自動車の普及など様々な要因により、利用者数は年々減少を続けています。

このような状況の中で、花輪線の利用を促進する事は、沿線住民の生活路線の確保及び沿線地域の振興を図る上で、非常に重要な課題となっております。

「十和田八幡平四季彩ライン」の愛称を持つ花輪線の魅力と、沿線地域の観光資源を含めた情報を発信し、観光客の利用拡大も図っていく必要があります。

こうした点を踏まえ、令和 7 年度の活動方針は、次のとおりとします。

沿線市町村が一体となった利用促進策の早期実施と、情報発信により花輪線への関心を高め、利用客の増加を目指します。

2 目標値の設定

今年度の利用目標は、コロナ禍と運転休止の影響からの回復を目指すこととして、令和元年時点の花輪線全線の平均通過人員である 3 5 7 人とする。

3 事業計画

（1）花輪線利用促進事業

花輪線の魅力と沿線地域の観光資源等について、SNS などデジタル技術を活用し広く PR する。新たな利用者の獲得を図るため、サイクルトレインの実証試験を実施し、スポーツツーリズム、自転車を利用した沿線周遊観光の拡大に向け、事業の展開を行う。また、沿線住民に対しては、路線維持に向けた意識の醸成を図る。

【参考】令和5年度 JR ローカル線活性化研究会でのプレゼン提案事業

提案事業	概要
撮影スポット整備	花輪線のおすすめ撮影スポットを情報配信 列車撮影講習会・撮影会の開催、コンテスト開催 撮影スポットの整備(植樹、駐車スペースの確保)
臨時列車運行	人気観光イベントへの臨時列車運行 小学生を中心とした団体競技の交流会を開催し、花輪線 を移動手段とする
サイクルトレイン	自転車をそのまま車内に持ち込めるようにすることで、 サイクリング愛好者の利用を促進
ミニツアー	入浴券割引付き乗車券 沿線自治体の日帰り観光ツアー開催 (漆塗り絵付け体験、芝居観劇、スイッチバック体験)
居酒屋列車 イベント列車	通勤利用者向けに、帰宅時の車内でお酒、その他メニュー を提供 昼は喫茶店列車として、コーヒーやスイーツなどを提供
秋田犬の活用	秋田犬をフックとした利用促進 (ラッピング、秋田犬に会える)
定期券補助	学生の定期券購入を補助(路線利用の習慣づけ、愛着を育 む) 八幡平市で実施中

(2) 幹事会の開催

協議会の目的を達成するために実施する事業の企画・運営のため、必要に応じて開催する。

(3) 協議会ホームページの管理・運営

ア) 事業概要

協議会ホームページで、花輪線の歴史、時刻表、サイクルトレイン情報・予約システムや協議会に関する情報を発信する。

イ) 管理体制

ホームページを適切に管理するため、専門知識を有する事業者へ管理を委託する。

(4) 会員の連携強化

会員間で共有すべき情報等について、事務局から会員に情報発信し共有するとともに、必要とされる対応について連携して取り組む。

<参考：会員各団体の予定される取り組み>

【岩手県】

○ J R ローカル線活性化対策事業費補助金

補助事業の内容：補助対象団体が実施する J R ローカル線（花輪線、北上線、山田線、釜石線、大船渡線、八戸線）の利用促進事業等に係る経費に対して補助。

補助対象団体：岩手県内市町村又は市町村が中心となって利用促進を実施する団体

補助率：1/3、1/2（補助上限 1 路線当たり 5,000 千円）

○国への要望活動（令和 8 年度政府予算要望）

実施時期：令和 7 年 6 月

内容：地方鉄道路線を含めた鉄道ネットワークの維持に向けた支援について、国に対して要望を実施予定。

○ J R 東日本へのダイヤ改正等に係る要望

実施時期：令和 8 年 2 月

内容：県内市町村から J R 路線のダイヤ改正等に係る要望事項を取りまとめ、J R 東日本盛岡支社あて要望を実施予定。

【盛岡広域振興局】

○もりおか広域観光・工芸等産業振興事業

実施日時：令和 7 年 7 月から令和 7 年 11 月上旬

開催場所：盛岡広域・鹿角エリア

内容：鹿角・盛岡広域エリアを対象としたデジタルスタンプラリーを実施し、エリア内の周遊観光を図る取組を通じて、J R 花輪線の利用促進につなげていく。

また、昨年度に引き続き、北秋田地域振興局と大館市の協力により、スタンプスポットに大館駅などの周辺施設を加えて実施する。

【秋田県】

○ J R ローカル線利用促進事業費補助金

補助事業の内容：市町村や利用促進協議会等が J R ローカル線の利用促進に係る事業を行う場合に要する経費に対する補助を実施。

①補助対象団体：県内市町村又は市町村等が中心となって利用促進を目的として構成される団体

②補助率：1／2 又は 1／3 以内・
1 路線当たり 3,000 千円

○ 高校訪問キャラバン 大館市、鹿角市内の高校

花輪線沿線の高校を訪問し、生徒に対して通学定期利用の P R を実施予定。

○ 国への要望活動

実施日時：令和 7 年 6 月、11 月

内容：J R 各社や地域による路線の維持及び利用促進に向けた取組に対し積極的な支援を行うことを要望。

○ J R 東日本へのダイヤ改善要望

実施日時：令和 7 年 6 月

内容：県内市町村から J R 路線のダイヤに係る要望事項を取りまとめ、J R 東日本あて要望を実施。

【鹿角地域振興局】

○ 秋田・岩手 十和田八幡平広域観光周遊事業

鹿角・盛岡広域エリアを対象としたデジタルスタンプラリーを実施し、エリア内の周遊旅行や観光施設・飲食店等での消費拡大を図る。

昨年度に引き続き J R 花輪線の特集などで P R し、北秋田地域振興局と大館市の協力により、スタンプスポットに大館エリアを加えて実施する。

○ 鹿角地域二次アクセス整備検討事業

実施日時：令和 7 年 9 月から令和 8 年 3 月（実証運行）

内容：鹿角市と小坂町の協力の下、鹿角花輪駅と十和田湖をハブとした、鹿角エリアを周遊する乗合タクシーの実証運行を行い、公共交通機関で来訪する旅行者の受入体制を整備する。

【北秋田地域振興局】

○ J R 花輪線 誘客促進事業 ※盛岡広域振興局・鹿角地域振興局との連携事業

実施日時：令和 7 年 7 月～1 1 月

内容：岩手県盛岡広域振興局と鹿角地域振興局が行うデジタルスタンプラリーと連携し、大館市と協力して大館駅などの周辺施設をスタンプスポットとして加えて、観光目的での花輪線の利用促進を図る。

【鹿角市】

○花輪線マイクロツーリズム

実施日時：令和 7 年 6 月から令和 8 年 3 月

開催場所：花輪線沿線

参加人数：各回 2 5 名程度

内容：花輪線を使用した沿線の観光スポットやイベントを巡る日帰りを中心としたミニツアーを実施する。

○DMO の SNS、市広報での情報発信

かづの DMO で運営している SNS、市広報を利用した花輪線の情報発信。

【大館市】

○市内の祭りやイベントにおいて、会場までのアクセス方法として花輪線の利用を周知

実施日時：通年

開催場所：大館市内

内容：・駅 one （9 月～1 0 月開催予定）

なまはげ太鼓などのステージイベント、飲食等の出店ブース、豪華景品が当たる大抽選会

・大館大文字まつり（8 月）

・大館神明社例祭（9 月）、

・本場大館きりたんぽまつり・肉の博覧会（1 0 月）

・大館アメッコ市（2 月）

市内で開催される祭りやイベントなどを県内外に広く情報発信することで、花輪線を利用した大館市への誘客を促進する。

【盛岡市】

○ＪＲ花輪線ＰＲパネル展示 令和７年９月開催予定

「盛岡市バスの日まつり」の関係機関ＰＲコーナーにおいて、花輪線の写真等のパネル展示を行い、沿線自治体の観光パンフレット等を配架する。

○ＪＲ花輪線に関する情報発信

市公式ホームページやＳＮＳにおいて、花輪線の利用促進事業等に関する情報発信を行う。

【滝沢市】

○各イベントでのポスター等掲示によるPR

実施日時：令和７年８月３０日又は３１日（滝祭）

開催場所：ビッグルーフ滝沢

参加人数：20,000人以上（昨年度実績から）

内容：都市政策課のブースにて利用促進のＰＲ（写真掲載等）

○市公式ホームページによる情報発信

市公式ホームページにおいて、花輪線利用促進協議会のホームページやInstagramに関する情報発信、花輪線の写真等の掲載。

【八幡平市】

○通学定期券購入費補助金交付事業

実施日時：通年

内容：通学定期券を利用する生徒の保護者へ通学定期券購入額の10/100の額を補助する。※市民、もしくは平舘高等学校への通学

○地域住民による環境美化活動

実施日時：令和７年６月

開催場所：花輪線沿線

内容：沿線住民による花壇整備、沿線木の伐採。

○サイクルトレイン予約システム運用

実施日時：令和７年４月～１０月

内容：サイクルトレイン実証実験で使用する予約システムの運用。

○エキタグスタンプラリー事業

内容：市内の花輪線各駅、観光施設等へエキタグを設置する。

○駅周辺イベントの開催（八幡平市商工会）

開催場所：大更駅前、荒屋新町駅前

内容：はちマルシェ、あしろマルシェの開催

花輪線の利用促進を図るため、駅前でのイベントを開催する。ステージイベントやキッチンカーなどの屋台の出店等で賑わいを創出する。

○「ぶらっと一日体験工房」（荒屋新町駅周辺）（八幡平市商工会）

八幡平市の伝統技術や職の体験。

○あしろグルチャリ（荒屋新町駅周辺）（八幡平市商工会）

電動アシスト自転車でサイクリングを楽しみながら、協賛店でポイントを貰って買い物券を配布。

【東日本旅客鉄道株式会社盛岡支社】

○重点共創エリアの指定

令和7年9月～11月 岩手県、令和7年12月～令和8年3月 青森県・北海道道南エリア

地域とJR東日本グループが一体となり、国内やインバウンドまでを視野に情報発信を行い、持続可能な地域づくりを推進し交流人口や関係人口の拡大を目指していきます。

○サイクルトレイン

令和7年5月～10月（一部対象外日あり）、利用促進協議会の実証実験に協力。

議案第 2 号

令和 7 年度収支予算（案）について

（収入の部）

（単位：円）

科目	R7 予算額	R6 予算額	比較	説明
1 負担金	760,000	760,000	0	正会員負担金 盛岡市 180,000 滝沢市 60,000 八幡平市 180,000 鹿角市 160,000 大館市 180,000
2 繰越金	470,342	73,841	396,501	令和 6 年度繰越金
3 雑収入	658	159	499	預金利子 等
4 補助金	800,000	250,000	550,000	JR ローカル線活性化対策事業費補助金（岩手県）、（秋田県）
計	2,031,000	1,084,000	947,000	

（支出の部）

（単位：円）

科目	R7 予算額	R6 予算額	比較	説明
1 会議費	100,000	100,000	0	会場等使用料 100,000
2 事務費	20,000	20,000	0	全国鉄道整備促進協議会分担金 10,000 事務費等 10,000
3 事業費	1,901,000	954,000	947,000	ホームページ管理委託料 200,000 花輪線 PR・利用促進事業 1,701,000
4 予備費	10,000	10,000	0	
計	2,031,000	1,084,000	947,000	

※科目間の流用を認めるものとする。

令和 7 年度負担金算出基礎

市町村名	負担金（単位：円）				基礎数値	
	人口割 (A)	距離割 (B)	平等割 (C)	合計 (A)+(B)+(C)	人口 (単位：人)	線路延長 (単位：km)
盛岡市	100,000	60,000	20,000	180,000	289,731	4.0
滝沢市	40,000	0	20,000	60,000	55,579	—
八幡平市	60,000	100,000	20,000	180,000	24,023	52.8
鹿角市	60,000	80,000	20,000	160,000	29,088	28.0
大館市	80,000	80,000	20,000	180,000	69,237	22.1
合計	340,000	320,000	100,000	760,000	467,658	106.9

(A) 人口割（令和 2 年国勢調査による市町村の人口に応じた負担）

区分	金額(円)
5 万人未満	60,000
5 万人以上 10 万人未満	80,000
10 万人以上	100,000

注) 準沿線市である滝沢市は、半額とする。

(B) 距離割（市町村に敷設されている線路延長に応じた負担）

区分	金額(円)
1 km以上 10 km未満	60,000
10 km以上 50 km未満	80,000
50 km以上	100,000

(C) 平等割 20,000 円